

バイオマス取組事例概要書

近畿

(社団法人日本有機資源協会会長賞)

- 応募主体 淡海再資源化協同組合
- 都道府県・市町村 滋賀県大津市
- 取組分野 飼料化

取組概要

びわ湖外来魚の飼料化。

淡海再資源化協同組合は、平成14年8月、滋賀県内異業種中小企業メンバーが産業廃棄物として処理されているびわ湖の外来魚（ブラックバス、ブルーギル）の飼料化を目指し設立されている。

外来魚（400t/年間水揚げ量）を丸ごと処理タンクに投入して高温で煮て滅菌消毒し、真空中で低温乾燥粉碎し飼料（フィッシュミール）とする施設を平成17年7月に設置。

この飼料化技術の開発は同組合を中心となり地元立命館大学等との産学官連携により取組んでいる。

今後さらに、フィッシュミールの高附加值化に向けた研究開発を進めいく。

プラントで製造された飼料



モデル事業構想

